

# 製品別比較表

2020年4月改訂

商品名	パロキセチン錠 5mg 「TSU」	標準品
会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	10.6 円／錠	42.6 円／錠
薬効分類名	精神神経用剤／117	
組成	1 錠中パロキセチン塩酸塩水和物5.69mg(パロキセチンとして5mg)含有	
性状	帯紅白色円形のフィルムコーティング錠 識別記号：20P 直径：約5.6mm 厚さ：約2.7mm 質量：約98mg	帯紅白色円形のフィルムコーティング錠 直径：5.6mm 厚さ：2.4mm 質量：90mg
添加物	無水リン酸水素カルシウム、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、タルク、酸化チタン、三二酸化鉄、カルナウバロウ	デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、リン酸水素カルシウム水和物、ヒプロメロース、マクロゴール400、ポリソルベート80、酸化チタン、三二酸化鉄
効能・効果	うつ病・うつ状態、パニック障害、強迫性障害、社会不安障害、外傷後ストレス障害	
用法・用量	<p>うつ病・うつ状態 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20～40mgを経口投与する。投与は1回10～20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。</p> <p>パニック障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして30mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日30mgを超えない範囲で適宜増減する。</p> <p>強迫性障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして40mgを経口投与する。投与は1回20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日50mgを超えない範囲で適宜増減する。</p> <p>社会不安障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。</p> <p>外傷後ストレス障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10～20mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。</p>	
生物学的同等性 溶出挙動	<p>標準製剤（先発製剤）を対照としたパロキセチン錠5mg「TSU」の溶出試験結果を下図にそれぞれ示す。パロキセチン錠5mg「TSU」の溶出パターンは、標準製剤と同等であった。</p>	